

令和4年度 京都府原子力総合防災訓練の実施状況について

1 日 時 令和4年11月27日（日） 7：00～14：00

2 内 容 住民避難訓練、一時集合場所設営・運営訓練等
 避難退域時検査・除染訓練
 避難行動要支援者避難訓練
 緊急時モニタリング訓練
 原子力災害医療訓練
 放射線防護対策設備稼働訓練

3 参加機関 36機関 約6,200人
 ※うち、住民参加数は約5,700人（屋内退避訓練のみ参加 約5,400人）

4 主な訓練（実績）

(1) 住民避難、一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付、屋内退避、広域避難訓練

市町		参加住民数	訓練内容
舞鶴市	三浜・小橋地区	6名	一時集合場所設営・運営
	三笠小学校区	1,480名	一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付、屋内退避
綾部市	口上林地域 (十倉志茂・十倉中・十倉名畑・十倉向・武吉・井根・佃・忠地区)	669名	住民避難、一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付、屋内退避
宮津市	宮津地区城東部 宮津地区城南部	35名	住民避難、一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付、広域避難
福知山市	三和荘体育館		広域避難受入 (宮津市職員による広域避難)
南丹市	鶴ヶ岡・知井・平屋・大野・宮島地区	3,285名	屋内退避
京丹波町	上乙見・下乙見・篠原地区	125名	一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付、屋内退避
伊根町	伊根・朝妻・本庄・筒川地区	17名	住民避難、一時集合場所設営・運営、安定ヨウ素剤緊急配付
7市町	25地区	5,617名	

(2) 避難退域時検査・除染訓練

- ・野田川わーくぱる及び与謝野町立大江山運動公園の2会場が連携した検査場所を開設し、車両及び人への検査・除染を実施

		延べ検査数	除染数（汚染あり）
避難車両	バス	9台	8台
	自家用車両	32台	8台
	合計	41台	16台
避難者		112人	16人

※綾部市、宮津市及び伊根町住民並びに京都府及び関西電力職員が避難者として参加

(3) 避難行動要支援者避難訓練

- ・成生地区の住民4名が福祉車両等により田井原子力防災センターに避難を実施
- ・安寿の里及びマ・ルートの職員が避難退域時検査・除染場所へ避難を実施

(4) 緊急時モニタリング訓練

- ・モニタリングカーの走行サーベイによる空間線量率の測定及び環境試料採取を実施

(5) 原子力災害医療訓練

- ・宮津与謝消防組合消防本部及び京都市消防局により被ばく傷病者の搬送を実施
- ・京都医療センターで被ばく傷病者の受入、検査・除染及び原子力災害医療処置を実施

(6) 放射線防護対策設備稼働訓練

- ・放射線防護対策設備（陽圧装置等）を稼働
舞鶴市：田井原子力防災センター
綾部市：いこいの村、松寿苑
宮津市：安寿の里
伊根町：長寿苑（8月18日に実施）

大雪時の原子力災害を想定した図上訓練の実施について

大雪時の現地対策本部の初動対応を確認するとともに、降雪・除雪状況に応じた避難経路や輸送手段の確保など大雪時の避難手順を確認する。

1. 日 時

3月17日(金) 13:30～16:30

2. 会 場

美浜オフサイトセンター

3. 参加機関

県、美浜町、敦賀市、県警、国(原子力規制事務所)、関西電力 約30人

4. 訓練内容

※他の機関についてはコントローラ(代役)で対応

(1) 嶺南振興局職員による初動対応(13:30～14:00)

- ・周辺市町の大雪による被害や発電所等の状況確認
- ・本庁職員との情報共有

(2) 大雪時における防護措置方針の検討(14:00～16:30)

- ・天候状況に応じた措置の検討
 - ⇒ 荒天中は「屋内退避」、天候回復後に「避難」の判断
- ・避難経路の確保
 - ⇒ 必要に応じた優先除雪の依頼、実動機関への応援要請
- ・バス等の輸送手段の確保
 - ⇒ 嶺南地域の保有バス台数の確認、県外応援要請の検討